

No.208

いんざい

2024.5.15

議会だより

今回の定例会

3月

6月

9月

12月



未来へつき進め！

(千葉ジュニア
フェンシングクラブ)

ずっと このまち いんざいで

子どもたちの学ぶ力を育む

●3つを柱とした子どもたちの資質・能力を育成

- ①生きて働く知識および技能
- ②未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力
- ③学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力、人間性など

- ・漢字級別認定テスト、計算力認定テストの実施(各3回) 20万2千円
- ・イングリッシュアカデミーの実施(ホップ2回、ステップ1回、ジャンプ1回) 1,242万6千円
- ・ALTの派遣(全幼・小中学校) 6,692万4千円
- ・英語教育コーディネーターの配置(全小学校) 1,995万8千円

●情報化社会に対応した教育の推進

- ・ICT支援員の配置(小中学校ICT支援員事業委託費) 4,078万8千円
- ・デジタル教科書の購入(小学校) 641万6千円
- ・デジタル教科書の購入(中学校) 118万8千円



- ・公共交通網整備促進事業、路線バス運行対策事業 2億1,585万1千円

令和6年度当初予算 《総額約521億円の当初予算が可決》 (単位：千円)

会計区分	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率
一般会計	52,110,000	49,120,000	2,990,000	6.1%
特別会計	17,731,737	17,739,796	△8,059	0.0%
国民健康保険特別会計	9,852,538	10,368,121	△515,583	△5.0%
介護保険特別会計	6,615,790	6,260,273	355,517	5.7%
後期高齢者医療特別会計	1,263,409	1,111,402	152,007	13.7%
企業会計	4,588,654	4,728,434	△139,780	△3.0%
水道事業会計	937,894	1,079,382	△141,488	△13.1%
下水道事業会計	3,650,760	3,649,052	1,708	0.0%
全会計合計	74,430,391	71,588,230	2,842,161	4.0%

いんざい *議会だより*



目次

P2～ 令和6年度予算成立

予算審査常任委員会

予算審査

予算審査常任委員会

P6～ 一般質問

会派代表質問5人

個人質問13人

P18 討論 陳情

P19～ 各常任委員会の審査

建設経済常任委員会

総務企画常任委員会

文教福祉常任委員会

P22 議案と審議結果一覧

P23 議員出欠簿公開 正副議長の動向 編集後記

P24 市民の声 次回定例会のお知らせ

3月定例会

令和6年度予算成立

予算審査

一般質問

討論
陳情

各常任委員会の審査

議案と審議結果

議員出欠簿公開

令和6年度 予算



注目事業

こんな事業を実施します

未来も健康で

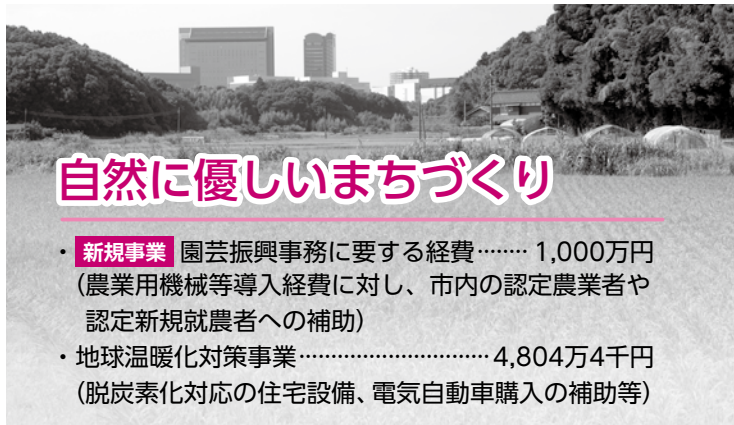
- ・予防接種事業……………6,269万8千円
- ・**新規事業** がん相談支援事業……………190万円
(アピアランスケア:ウィッグ、胸部補整具の購入費助成)



住みよさ実感都市

自然に優しいまちづくり

- ・**新規事業** 園芸振興事務に要する経費……………1,000万円
(農業用機械等導入経費に対し、市内の認定農業者や認定新規就農者への補助)
- ・地球温暖化対策事業……………4,804万4千円
(脱炭素化対応の住宅設備、電気自動車購入の補助等)



多様化・複合化する地域福祉に対応

- ・生活困窮者自立支援事業に要する経費……………4,255万2千円
(生活困窮者等の自立支援事業、生活困窮者等に対する住居確保給付金)
- ・特定疾患見舞金……………1,541万9千円
(支給対象要件の緩和、年額最大1万円の見舞金を支給)

いざという時に備えて

- ・災害用井戸整備(本埜中学校)……………2,927万円
- ・災害用マンホールトイレ整備工事……………4,600万円
(小林中学校・高花小学校)
- ・マンホールトイレ実施設計業務委託……………800万円
(印旛中学校・滝野中学校)

電子行政の推進

- ・スマートシティの調査研究……………1,100万円



安心・安全な暮らしのために

- ・**新規事業** 自転車乗車用ヘルメット購入費助成…200万円
- ・**新規事業** 電話de詐欺対策……………98万7千円
(75歳以上の方がいる世帯を対象に自動通話録音機貸与)
- ・公園の適切な維持管理の推進……………14億5,893万円
(公園施設の計画的な補修・更新等)
- ・道路網の整備……………7億1,537万7千円

予算審査

予算審査常任委員会は、2月26日に令和5年度補正予算、2月27日から3月1日まで令和6年度当初予算および補正予算の審査を行いました。
すべての予算議案は、原案のとおり可決しました。

令和5年度 補正予算

一般会計（第8号）

市内経済活性化に効果絶大

問 キャッシュレス決済ポイント還元事業が減額された理由は何か。

答 キャンペーン開始直後からの大反響により原資不足となる見込みとなり、やむを得ず期間を短縮し受託事業者契約も短縮したため。この事業により、市内で約10億円に近い消費が行われた。

公園に新しい遊具お目見え

問 公園緑地維持管理事業の内容は。



答 公園遊具の交換3件である。

国民健康保険特別会計（第3号）

個別健診から集団健診へ

問 特定健康診査等事業が減額となった理由は何か。

答 5775人と見込んだ受診件数が決算見込み4765人となった。個別健診が減り集団健診が増えた。被保険者数は減っているが1人当たりの医療費は増加傾向である。

介護保険特別会計（第3号）

滞る介護認定調査

問 認定調査業務委託の決算見込みによる介護認定に要する経費の減額とは何か。

答 委託予定であった調査事業所との調整不備により認定調査委託ができなかったため。

令和6年度 当初予算

一般会計 企画財政部

交通不便地域にも移動の配慮

問 地域公共交通利用助成金とはどのようなものか。

答 タクシー利用助成事業であり、1回800円の補助券を月8回まで交付する。

一般会計 総務部

進むデジタル化

問 スマートシティ調査研究委託とは何か。

答 全体感を持ったデジタル化を検討し次期印西市DX推進方針に盛り込むため、課題の調査を外部委託するもの。

一般会計 市民部

自転車はヘルメットを被って



自転車乗車用ヘルメット購入費助成 購入費2分の1
上限2千円1人1個1回限り

一般会計 福祉部

生活困窮者の自立を助ける

問 生活困窮者自立支援事業には何かがあるか。

答 いんざいワーク・ライフサポートセンターにおいて4つの事業を行う。生活困窮者自立相談支援・生活困窮者就業準備支援・生活困窮者家計改善支援・被保護者就労支援である。

一般会計 健康子ども部

予防接種事業 次々と

新規予防接種助成

〇帯状疱疹

50歳以上 1回当たり1万円
不活化ワクチン2回接種

〇おたふく風邪

1歳～未就学児 1回当たり3千円 2回接種

〇小児インフルエンザ

生後6カ月～小学校6年生
1回当たり1500円
毎年2回接種

闘病中のがん患者さんへ

アピアランスケア支援事業

○ウィッグ

1人1回 上限3万円

○胸部補整具

1人1回 上限2万円

一般会計 教育部

世界へ羽ばたく子どもたちに

問 英語コミュニケーション能力検定とは何か。

答 小学5・6年生の希望者がALTとの面接テストを行う、市独自の検定である。自己紹介スピーチや簡単なQ&Aで、コミュニケーション能力の向上を図るものである。

一般会計 環境経済部

地球温暖化対策 着々と

問 カーボンニュートラル加速化事業の内容は何か。

答 地球温暖化対策事業の住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金の件数を増やす。電気自動車には、市独自で上乗せ補助を追加して交付する。

一般会計 都市建設部

小林駅前広場 完了間近

問 小林駅南口駅前広場の工事完了はいつごろか。

答 ベンチやサイン看板の設置、誘導ブロックの設置、またバス停の上屋工事を実施して、令和6年度中に完了予定である。

一般会計 介護保険特別会計

認定調査の遅れを取り戻せ

問 介護認定の件数を増やす取り組みは何か。

答 認定調査委託を活用する。また、介護支援専門員の職員を1名採用予定である。

水道事業会計

水は生命の命綱

給水車を1台購入予定

○購入後の市保有給水車

積載量1トン1台・積載量2トン1台・給水タンク積載トラック1台となる。

下水道事業会計

災害に備えて

マンホールトイレ設置事業



※イメージです

小林中学校、高花小学校

令和7年度

印旛中学校、滝野中学校

令和6年度 補正予算

一般会計（第1号）

問 定額減税とは。

答 納税義務者、その控除対象配偶者および扶養親族それぞれ1人につき1万円が所得割額から控除されるもの。

問 個人市民税が減額されているのはなぜか。

答 納税義務者、その納税義務者の控除対象配偶者および扶養親族から控除される定額減税である。

物価高騰重点支援給付金

総額7億3200万8千円

○国庫支出金

物価高騰重点支援

地方再生臨時交付金

7億1268万円

○一般財源支出金

1932万8千円

臨時会

令和6年度第1回臨時会 〈令和6年1月31日開催〉

議案第1号

令和5年度印西市一般会計補正予算（第7号）

① 歳入歳出予算の補正

補正前の額	補正額	補正後の額
517億9,954万円	2億6,814万3千円	520億6,768万3千円

【内容】物価高騰重点支援給付金事業（均等割及びこども加算分）2億6,814万3千円
住民税均等割のみ課税世帯及び低所得世帯のうち子育て世帯への経済的支援実施に要する給付金を増額。

【財源】国庫支出金：物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金2億6,200万円

② 繰越明許費

事業名	金額
物価高騰重点支援給付金事業（均等割及びこども加算分）	2億6,814万3千円

◎繰越明許費とは、歳出予算の経費のうち、その性質上又は予算成立後の事由に基づき、年度内にその支出を終わらせない見込みのあるものについて、予算の定めるところにより、翌年度に繰り越して使用する経費をいいます。

我が市政を問う



一般質問

定例会では、2月15日から2月21日に会派代表質問及び個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。

ここではその一部を掲載いたします。

この掲載記事は、各議員本人が作成したものです。

《一般質問とは》

議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。

会派代表質問

- | | |
|-----------------------|------|
| 1. 創進 (松尾 榮子) | P.7 |
| 2. 新政 (板橋 睦) | P.8 |
| 3. TO BE (稲葉 健) | P.9 |
| 4. 公明党 (鈴木 博美) | P.10 |
| 5. 至誠 (中澤 俊介) | P.11 |

個人質問

- | | | | |
|-----------------|------|------------------|------|
| 1. 軍司 俊紀 | P.12 | 8. 岩崎 成子 | P.15 |
| 2. 大野 忠寄 | P.12 | 9. 野崎 崇正 | P.16 |
| 3. 加藤 亮二 | P.13 | 10. 松本 有利子 | P.16 |
| 4. 櫻井 正夫 | P.13 | 11. 小川 利彦 | P.17 |
| 5. 藤江 研一 | P.14 | 12. 増田 葉子 | P.17 |
| 6. 林 勝利 | P.14 | 13. 都築 真理子 | P.18 |
| 7. 山田 喜代子 | P.15 | | |



録画中継はこちらから



いんざい議会だより

令和6年(2024年)5月 No.208

問 市の未来を創る市役所配置計画を



答 早めに方向性を示していきたい

「創進」 松尾榮子 議員



印西市公共施設整備基本方針より

印西市の姿と現在の庁舎等の配置

質問1 千葉ニュータウン事業入居開始から40年。市村合併から14年。北総の中核都市を目指して建設が進められてきた印西市は、人口約11万人、東京と成田を結ぶ北総の一大拠点都市として急成長し、まちの姿や市民の暮らしも大き

く変化してきた。市役所現庁舎は1976年（昭和51年）、将来人口6万4千人を想定して建てられ、法定耐用年数50年のところ築47年になる。来庁する市民や職員の利便性や安全性からも、早期に位置を含めた次期施設の計画が必要な段階だ。令和8年度からの第2次基本計画に、市役所の配置の検討を盛り込み、配置計画を進めていく考えは。

企画財政部長 第2次基本計画においても、公共施設の配置などの適正化については、引き続き取り組んでいくものと考えている。

再質問 現庁舎は平成22年に耐震改修と大規模改修を行っており、次回は令和13年から17年の間に大規模改修を行う予定である。大規模改修も相当の費用がかかり、改修後はさらに20年間、築78年まで今以上に老朽化した施設を使うことになる。庁舎が危険なくらい古くなってから建替計画を立てるのでは遅すぎる。今

後どのように取り組むのか。

市長 本庁舎の配置については、人口の増加など社会的状況に適切に対応するため早めに方向性を示していきたい。

質問2 ふれあいバスのルート再編の検討状況は。

企画財政部長 ルート再編の基礎資料となる素案を、令和6年3月に策定。素案をもとに令和6年度、地域公共交通会議や運行事業者等関係機関と協議を行い、令和7年度内を目途に、ルートおよび時刻改正を実施していきたい。

再質問 ルート再編には、市民からも多くの意見、要望が上がっている。どのように反映していくのか。

答弁 具体的な運行ルート、バス停、時刻設定などについては、今後、関係機関との協議の中で決定していきたい。

問 原小学校の分離新設はどうなる

答 新設校の設置に向け進めている

「新政」板橋睦 議員



原小学校第2グラウンド

質問1 原小学校について、令和6年度の予定児童数と学級数は。

教育長 1193人、特別支援学級を含め42学級の予定。通学区域制度の弾力的運用を利用し、学区外就学をする児童数は、高花小学校27人、いには野小学校27人、本埜小学校3人である。

再質問 原小学校の分離新設についてどうなっているのか。

教育部長 原小学校区内の地区別児童数を推計し、新設校の設置に向け、敷地面積・施設教室数をシミュレーションしているところである。

質問2 船穂小学校について令和6年度の予定児童数と小規模特認校制度での児童数は。

教育部長 1年生11人、2年生12人、3年生7人、4年生8人、5年生4人、6年生7人、合計49人である。そのうち、小規模特認校制度を利用している児童数は、1年生6人、2年生6人、3年生2人、4年生3人、5年生2人、6年生2人、合計21人である。

再質問 今後の学校経営の考えは。

答弁 小規模特認校制度は令和5年度より本格導入しており、現在、その実績を踏まえて検証を行っている。今後の学校運営については、検証結果を踏まえた上で検討したいと考えている。検証の結論は令和5年度内には出そうと考えている。検証は、小規模特

認校制度を継続するか、廃止するかを検討するものである。

質問3 本埜中学校について令和6年度の予定生徒数と小規模特認校制度での生徒数は。

教育部長 1年生10人、2年生10人、3年生1人、合計21人である。そのうち、小規模特認校制度を利用している生徒数は、1年生10人、2年生1人、3年生1人、合計12人である。

再質問 今後の学校経営の考えは。

答弁 船穂小学校と同様検証し、結論は7年度存続か閉校かではなく、小規模特認校制度を継続か廃止かである。

問 自治会連合会と防災の連携を



答 自助共助の地域防災対策を支援

「TO BE」 稲葉健 議員



2023印西市総合防災訓練
小林地区の町内会・自治会と協働実施

質問1 現在、自治会連合会

では特に防災に重きをおいて協議をしている。防災においては各自治会の横のつながりが大変に重要であると考えているが、市は防災の観点では自治会連合会とどのように連携しているのか。

市民部長 災害対策への対応

は全市的な地域課題である。町内会自治会連合会と連携し、市政学習会や研修、意見交換会等にて事業を共催し、自助・共助による地域防災体制づくりを支援している。

質問2 第2期印西市教育振

興基本計画におけるSDGsについて、特にジェンダーに関する見解は。

教育長 児童生徒の発達の段

階に応じ学校教育全体を通じて、人権の尊重や男女の平等、また男女が協働して社会参画することの重要性について指導することが重要であると考えてる。

質問3 図書館職員は専門知

識を要する職であり図書館長には司書の資格を持つ者を採用することが図書館サービスの充実につながると考えるが、

教育部長 図書館長は館の責

任者として配置し、館長の他に司書資格を有する職員を配置して図書館サービスの充実に努めているが、司書資格を持つ職員の図書館長への登用について引き続き検討する。

再質問 当市の司書のほとんどが任期付職員や会計年度任用職員であるが、司書の職務には継続した経験が必要であると考ええる。正規職員の司書専門職は採用できないのか。

答弁 図書館サービスの充実を図っていくためには、今後とも計画的に司書資格を有する正規職員を採用していくことが必要であると考えてる。

質問4 令和6年6月のゼロカーボンシティ宣言に向けて、準備状況はどうか。

環境経済部長 「いんざいカーボンニュートラル チャレンジ2050」を令和6年度中に策定する。市の温室効果ガス削減策は、印西市住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金の上乗せ補助を行い加速を図っていく。

問 带状疱疹ワクチン接種費用助成は

答 令和6年度当初予算として上程

「公明党」 鈴木博美 議員



带状疱疹ワクチン接種

質問1 带状疱疹ワクチン接種費用の助成について準備状況はどうか。

市長 带状疱疹の不活化ワクチン予防接種費用助成については、本定例会における令和6年度当初予算に計上している。

質問2 自転車乗車用ヘルメット購入費助成について、調査・研究の進捗状況はどうか。

市長 自転車利用者の交通安全対策およびヘルメット着用の向上を目的とし、令和6年度当初予算に計上したところである。

質問3 茨城県城里町では、買物支援として移動スーパーカスミで、生鮮食品や加工食品・日用品など約650品目

を揃え、1日8〜9箇所を巡回し販売している。また、静岡市駿河区ではドラッグストアエルシアの移動販売を開始し、パンや総菜、お菓子、日用品のほか、医薬品の販売や健康相談も行い住民に好評だ。本埜地域の市民から買い物が大変との声、また、小林地域の方からは車がないため、薬が買えず不便だという声が寄せられている。移動販売の促進に対する見解を伺う。

市長 第4次市地域福祉計画で買物弱者支援検討に取り組むこととし、移動販売は、買物弱者対策の一つとして有効と考えている。

再質問 市民の暮らしやすさのため、移動販売を検討でき

ないか。

福祉部長 令和6年度に次期地域福祉計画策定に向けたアンケート調査を実施予定。結果を基に移動販売車を含めた買物弱者対策を検討する。

質問4 柏市では、シニア就労支援として高齢者向けの求人開拓や、ワンストップ相談窓口等、支援が充実している。印西市のシニア就労支援の実施状況、今後の取り組みは。

市長 高齢者就労支援センターにおいて、講座の実施、就労相談、企業説明会、その他求人情報の提供を行い多くの申し込みもある。柏市での取り組みも今後、参考にしていく。

問 小中学校の給食費無償化はいつか



答 制度設計が整ったら示せる

「至誠」 中澤俊介 議員



質問 印西市立小・中学校の給食費無償化について伺う。

市長 保護者の経済的負担を軽減し、児童生徒の健全な成長に市がしっかりと責任を持ち、健康の増進や体力の向上に資するため、本市においても今後、学校給食の完全無償

化の実施を検討している。

再質問 保護者の経済的負担の軽減が目的ならば速やかに無償化すべきだが、いつ頃から実施する予定か。

教育部長 完全無償化の実施時期は、今後の検討で制度設計が整ったからお示しできるものと考えている。

再質問 中学校3年生には最後の1年間となるので早急に実施してほしい。市川市は中学校を先行して無償化した。最速で2学期の令和6年9月から実施できると考えるが、本市ではどのような手法で実施するのか。

答弁 他自治体の実施手法では減免や免除、補助などにより行っている。本市の完全無償化の実施手法は、今後検討を進める中で制度設計が整ったから改めてお示ししたい。

再質問 給食費を完全無償化した場合の費用は。

答弁 市の負担額は約5億3千万円となる見込み。

再質問 財源の確保は。

答弁 完全無償化で特定財源の給食費負担金がなくなり一般財源からの対応となる。

再質問 完全無償化の実施で徴収コストや事務コストなどの削減は。

答弁 完全無償化の制度設計が整っていないため、担当事務員の作業量などの程度削減できるかは、現時点ではなかなか難しい。

再質問 地産地消の取り組みや質の確保については。

答弁 印西市産と千葉県産を合わせると使用率は6割以上になる。給食に使用している米は全て印西市産。今後でもきる限り印西市産・千葉県産の使用に心掛けていきたい。

再質問 就学前の幼稚園や保育園の給食を無償化した場合の概算費用は。

健康子ども部長 概算で年間約2億5千万円になる。

問 災害廃棄物処理訓練をすべきでは**答** 情報を収集、共有していく

軍司俊紀議員

**質問** 災害廃棄物処理は重要な課題だ。環境整備事業組合

での焼却処分の前には仮置場での分別が必要だと考えるが、どのように行うのか。

環境経済部長 災害廃棄物の

仮置場への搬入を円滑に行うためには、予め運営や管理等のルールを定める必要があると考える。今後の処理や再生利用を考慮すると、可能な限り分別を行うこととなり、可燃系混合物、不燃系混合物、廃家電など、性状や特徴に応じて保管することとなる。

再質問 災害を想定し、処理計画や行動マニュアルに基づいた訓練が必要ではないか。**答弁** 災害廃棄物対応は、発災時の初動対応だけでなく、仮置場候補地の選定や関係者との意見交換等、平時からの備えが大変重要であると考えている。他市では、災害廃棄

物処理を想定した訓練を実施している例もあるので、本市

でも情報収集に努め、関係機関とも調整し実施検討したい。

再質問 どのような役割分担が想定されるのか。**答弁** 市と印西地区環境整備事業組合が連携を図り処理することとなる。市では印西地区環境整備事業組合との連絡調整のほか、仮置場の設置準備、仮置場への搬入事務、市民等への周知、仮置場の運用および周辺環境対策等を行っていく。今後、このような状況を想定し、検討したい。環境省 災害廃棄物対策
フォトチャンネルより**問** 井戸水水質汚染の健康被害対策は**答** 水道への切替え又は浄水器の設置

大野忠寄議員

**質問1** 井戸水の水質汚染について伺う。**環境経済部長** 市内の数力所

から、基準値を超えるヒ素やマンガン、硝酸性窒素等が検出された。井戸設置者に対し、飲用指導等の対応を実施した。

再質問 具体的な飲用指導は。**答弁** 水道が整備された地域では水道への切替えを、未整備の地区では浄水器設置を助言している。**質問2** 水質検査補助金制度について伺う。**環境経済部長** 飲用水の水質

検査の補助金制度について他自治体事例を参考に調査・研究を行う。

質問3 健康被害の観点から、現行の浄水器補助制度の補助率の引上げはできるか。**環境経済部長** 補助率は、同様の補助金を交付している近隣自治体の状況を注視し調査

する。



井戸水の水質浄化装置

質問4 上水道整備の方法は。**上下水道部長** 水道引込みの

条件は給水区域内であり、土地に隣接した道路に上水道の配水管が布設されていることが基本で、申請は印西市指定給水装置工事業者が行う。

再質問 現在、上水道配管工事の要望また、計画されている区域内の進捗状況は。**答弁** 配水管布設工事は複数区域から要望等を受けていて、現況の調査や整備の必要性を検討し着手済の整備事業の進捗を勘案し早期着手に努める。

問 小中学校の給食費完全無償化を

答 早く実施できるよう努力する

加藤亮二議員



質問 令和5年第2回定例会

にて小中学校の給食費完全無償化を提案した際、「無償化実施の予定はない」、「国の動向を注視していきたい」との答弁だったが、市民の方々からは完全無償化を求める声が今も根強くある。市はどのように考えているのか、改めて伺う。

教育部長 県内の一部自治体

で実施していることは承知している。円安や物価高の影響で家計が厳しい状況にある中、保護者の経済的負担軽減と児童生徒の健全な成長・健康増進のため、今後、学校給食費の完全無償化の実施を検討していく。

再質問 「検討していく」の

表現からは、具体的な実施予定やスケジュールが不明確である。具体的なスケジュール、検討開始時期や実施に移行す

るまでの予定される大枠の時間軸について、どのような進捗状況が見込まれるか。

答弁 既に完全無償化を実施

している自治体への聞き取りなどの調査に着手しているが、スケジュールについては現在検討中である。

再質問 市は、学校給食費の

完全無償化を、遅くともいつまでに開始したいと考えているのか。

答弁 実施時期については制

度設計が整った後に示す予定である。早く実施出来るよう努力する。

問 今後のイノシシ捕獲対策に名案は

答 鳥獣被害対策組織の強化を進める

櫻井正夫議員



質問1 令和5年度末のイノシシの捕獲状況は。

環境経済部長 令和5年度の

イノシシ捕獲頭数は令和6年1月末現在、成獣484頭・幼獣203頭。計687頭である。

再質問 狩猟の捕獲方法は何

種類があるが、種類別の捕獲数は。

答弁 イノシシ駆除業務委託

で、わな別のイノシシ捕獲頭数の内訳は、箱わな476頭・くくりわな195頭・囲いわな16頭である。

質問2 野生のイノシシが家

畜伝染病（豚熱）に感染する事があると聞いたが印西市で感染例はないか伺う。

環境経済部長 野生のイノシシ

シの豚熱の感染調査は、千葉県が捕獲および検査を実施しているが、これまで市内で捕獲されたイノシシに感染例は

ないとの報告を受けている。

質問3 令和5年4月から活

動を開始した岩戸区有害獣対策会の成果は。

市長 令和6年1月末現在でイノシシ148頭、ハクビシン等21匹を捕獲し大きな成果を上げた。

質問4 被害の心配をなくするため、今後、組織を立ち上げる考えはあるか。

環境経済部長 鳥獣による農

作物被害が多い地区には市が説明会を開催し、地域ぐるみの鳥獣被害対策組織の立ち上げに向け検討している状況である。



イノシシ捕獲用の箱わな

問 癌によるアピランスケア助成は

答 令和6年度予算として上程した



藤江研一 議員

質問1 癌によるアピランスケアの購入支援について、千葉県の令和6年度予算案では、補助対象者は癌治療を受けている方、補助対象経費は医療用ウィッグ・乳房補整具等の購入費用等で上限5万円、負担割合は、県が2分の1、市町村2分の1とされている。当市の対応は。

健康子ども部長 令和6年度予算に計上している。



医療用ウィッグを検討している
癌患者の方

質問2 電話de詐欺対策は。

市民部長 令和6年度予算に電話de詐欺対策機器貸与の経費を計上した。

質問3 市内小中学校の特別教室、体育館のエアコン設置状況と今後の対応を伺う。

教育部長 現在、全小中学校の調査と基本設計を行っている。特別教室では、音楽室は全校で設置。今後は、令和6、7年度に実施設計を行い、6年度から8年度までに設置を完了させる予定。体育館の実設計は、特別教室の実設計計終了後になるが、令和6年度以降体育館の大規模改修や保全改修の設計を行う学校は、当該工事と併せて設置したい。

質問4 新型コロナウイルスワクチン接種は、令和6年度以降、65歳以上の方と60歳から64歳で対象となる方には、秋冬に自治体による定期接種が行われ費用は原則有料となる。市独自の接種補助は。

健康子ども部長 一部負担で接種できるよう検討している。

問 千葉ロッテマリーンズ誘致

答 内容について精査したい



林勝利 議員

質問1 千葉ロッテマリーンズがファーム施設の移転を検討している。誘致に立候補する考えはないか。

企画財政部長 日本ハムファイターズのファーム施設がある、鎌ヶ谷市の事例をみると、市内への誘致は地域の活性化に繋がるものと考えているが、必要な条件等が示されたばかりであるので、その内容について精査したい。



マリーンズの練習風景

質問2 小中学校の入学準備費用について支援金を給付する考えはないか。

健康子ども部長 小中学校等の入学準備費用を支援金として給付する自治体があることは認識しているので今後調査・研究していく。

質問3 災害時の避難所における同行避難について体育館とは別の空き教室等をペット同居専用避難所として活用する考えはないか。

環境経済部長 避難所の敷地内の風雨を防げる場所やペット同行避難者の自家用車内を想定しており空き教室等をペット同居専用避難所として活用することは考えていない。

再質問 ペットと同居できるスペースは必要ではないか。

答弁 避難所にペットと同居できるスペースを設けることは考えていない。

問 補聴器助成金の増額と対象拡大を

答 現段階では現行の助成基準を維持する



山田喜代子 議員

質問1 助成の効果はどうか。

市長 会話が聞きやすくなり安心して日常生活を送れるようになったとご意見を頂いている。

再質問 実情に合わせて2万円の補助を増額し年齢も60歳に引き下げる考えはないか。

福祉部長 現段階では現行の助成基準を維持する。



聴こえて会話がはずみます

質問2 国保の加入者の職種、所得年齢構成はどうか。

市民部長 協会けんぽ、健康組合と比較すると年齢構成が高く医療水準も高く所得水準は低い特徴がある。

再質問 国民健康保険税の引き下げへの考えはないか。

答 国保財政調整基金の保有がなく、令和4年度から、一般会計から財政支援をしているので検討していない。

質問3 知的障害学級や自閉症・情緒障害学級それぞれの学級の課題は何か。

教育長 障害の程度には個々に差があり個別に支援をする必要がある。

再質問 学習指導員、介助員等の配置は十分か。

答 人員が十分ではない現状もある。

質問4 市内の公共施設（公民館、中央駅前地域交流館、コミュニティ施設、文化ホール）の机、座卓、椅子は軽くて使いやすいか。

教育部長 利用される方にとって使いやすいものを検討して導入したいと考えている。

問 児童生徒への交通安全指導は

答 交通安全教室を実施している



岩崎成子 議員

質問1 通学路の交通安全対策として、指導はどのように行われているのか。

教育長 市内各小学校の学級活動等で、安全な登下校の仕方について発達段階に応じて指導をしている。小学校5年生は体育科保健領域の学習で「交通事故によるけがの防止」について学んでいる。さらに、全ての小中学校で交通安全教室を実施し、安全な歩行、横断歩道の渡り方、自転車の正しい乗り方等について学習する機会を設けている。

再質問 高齢者が交通事故を起こさないための対策は。

答 令和2年度より高齢者安全運転支援装置設置促進事業を実施している。自動車の運転を必要としている高齢者を対象として、既販車に対して後付けで設置するペダル踏み間違い等による急発進等抑制装置の設置を促進し、高齢者の事故防止および事故時の被害軽減を目的に、設置費用の一部を補助しているところである。

質問3 带状疱疹ワクチン接種費用の公費助成は。

健康子ども部長 令和6年度当初予算に計上している。



交通安全教室で自転車の正しい乗り方等を学習する子供たち

質問2 高齢者が交通事故に

問 自治会や町内会の負担軽減を

答 町内会自治会連合会と協議したい



野崎崇正 議員

質問 市内の自治会・町内会の現状は。

市民部長 本市が把握する団体数は年々増加しており、一方で、加入率の低下、組織の高齢化、担い手不足などにより、活動の維持・継続が困難となっている地域もある。

再質問 自治会等の負担軽減のため、行政協力業務の見直しを進めるべきでは。

答弁 行政からの協力依頼はお願い事項であるため、各町内会の自主性と多様性のもとご判断いただきたい。

再質問 総務省の報告書でも、「行政協力業務に関する組織横断的な棚卸しが必要」との提言があるが、本市ではその必要性をどう考えているか。

答弁 行政協力依頼は、都度各部署で必要性を判断し実施しているが、今後、町内会自治会連合会と意見交換したい。

再質問 自治会等や市職員の負担軽減のため、補助金手続きについて、電子申請など効率化を進めるべきでは。

答弁 現在の補助金交付手続き全体を見直し、BPRを進めた上で電子申請を取り入れることにより、効率化が図れるものと考えている。

再質問 多様な担い手の参加を促すため、オンライン会議の普及に向け、オンラインツールの勉強会や費用助成などの取り組みを強化すべきでは。

答弁 町内会自治会連合会と協議したい。



問 スマートシティの全庁的推進を

答 調査研究の中で推進体制を検討



松本有利子 議員

質問1 スマートシティ構想について調査研究しているか。

総務部長 スマートシティは市の行政課題を解決する一つであると考えており、令和6年度から調査・研究を進めていくところだ。

再質問 全庁的に取り組む考えは。

答弁 調査・研究を進める中で、推進体制等を検討したい。

再質問 推進主体となる協議会等の設置は出来ないか。

答弁 今後検討すべきものと認識している。



スマートシティ官民連携プラットフォーム

質問2 大規模災害時に住民から一斉に道路冠水や住居被害などの問い合わせが集中した際、もれなく対応できるか。

総務部長 その都度関係各課と情報共有し対応しているが、問い合わせが集中した際にもれなく対応する仕組みはない。

再質問 全職員が情報を共有し、市民へ統一された対応を提供するためのデータ共有の仕組みを構築できないか。

答弁 今後、調査・研究する。

質問3 停電等に影響を受けない衛星通信の導入が必要だが研究状況および導入の考えは。

総務部長 衛星通信事業者と協議を行っている。ネットワーク機器の更新時、既存回線の代わりとして衛星通信が通常使用可能であれば導入についても検討できる。

問 市管理の標識等の管理徹底は

答 適切な維持管理に努める

小川利彦議員



質問1 道路標識の管理は。

都市建設部長 大型標識など、道路法施行令により、10年に1回の詳細点検が定められており、必要に応じて補修を実施しているところだ。

再質問 標識看板等の状況により、10年を待たずに補修が必要では。

答弁 道路パトロールの実施時に標識の状況確認も行うよう検討する。

質問2 消防水利標識は。

総務部長 消防団や消防署から報告があった箇所の状況を確認し、必要に応じて修繕や再設置等の対応を行っている。

質問3 避難所標識は。

総務部長 指定避難所となる学校等に設置している避難所標識は、防災倉庫の点検時などの際に確認をしているものであり、看板の汚れや劣化、破損等を確認した場合は、交

換や洗浄等を実施している。



印西市管理の標識

質問4 小規模特認校の特色は。

教育部長 創意工夫を活かした教育活動は、ICTの活用や異学年の交流、地域の方と共同した農業体験等である。

再質問 特色ある部活動があれば学区外からも転校希望者が増えるのではないかと思う。本笠中学校で「eスポーツ」を部活動としてはどうか。

答弁 部活動地域移行について検討中なので、本笠中学校だけ先行して取り組むことは考えていない。

問 公園トイレ、リフォームし快適に

答 令和7年度から順次取り組む

増田葉子議員



質問 公共施設は計画的に大規模改修工事が進められているが、公園のトイレを忘れていないか。築30年以上のトイレはいくつあるのか。

都市建設部長 松山下公園3施設、本笠スポーツプラザ2施設、印旛西部、浅間山、高花、多々羅田、浦幡新田、大塚前公園にそれぞれ1施設の計11施設で未改修は松山下公園以外の8施設ある。

再質問 一般的な建築物で30年以上一度も改修をしないのは考えられない。公園施設長寿命化計画によると、年1回職員による健全度調査を行っているところがあるが、どのような調査が行われているのか。

答弁 コンクリートのひび割れや剥離、金属類の腐食や亀裂、ドア等の変形や破損など目視や触診で調査している。

再質問 故障や劣化の最低限

の調査と感じる。ぜひ快適性を調査してほしい。照明はつくが薄暗い、便器も長年のシミがある、なんだか臭い。周辺樹木が育ち、見通しが悪く防犯面で問題はないか、バリアフリー面ではどうか、災害時に対応できるか、調査項目は多岐にわたる。長寿命化計画とは別にリフォーム計画をつくってほしい。

答弁 長寿命化計画にトイレ施設の改修は含まれる。令和7年度に5施設、令和8年度に2施設、令和9年度に1施設を改修する予定だ。



問 ヤングケアラーの実態調査を確認**答** 早期発見に努め必要な支援へ繋ぐ

都築真理子 議員

**質問** ヤングケアラーの実態把握を伺う。**健康子ども部長** 令和5年度の把握件数は、令和6年2月1日現在、4件である。**再質問** この件数をどのように感じるか。**答弁** 一定数のヤングケアラーがいると考えられるため、適切な支援を行うことが重要であると感じている。**再質問** 支援の考えを伺う。**答弁** 個別の事案に対応する中で、関係機関と連携し、早期発見に努め、必要な支援につなげていきたい。**再質問** 具体的な関係機関はどこになるのか。**答弁** 病院、警察、児童相談所、保育園、教育機関などで構成される印西市の子ども虐待防止対策協議会に所属する関係機関である。**再質問** どのような方法で支

援につなげていくのか。

答弁 学校などへの聞き取りや家族と面談などをする中で案内につなげていく。**再質問** 国内に推計10万人のヤングケアラーがいることが分かっている。実際にはもっと多いと専門家は指摘する。ヤングケアラーはかわいそうな子どもではないことや、支援を受けるのはなんら恥ずかしくなく当たり前なんだという空気を同時に作って行くことも大事だと感じるが。**答弁** 民生委員児童委員や学校などと連携を図っていく。**本会議での討論****要約****議案第25号**

市長は「未来に希望が持てるまちづくりに取り組む」としている。学校の改築、増築等のハード面の予算計上の一方でソフト面の人員体制は充分でない。保育・教育現場は非正規、女性が多くを占め低賃金だ。豊かな財政力を活かし非正規職員の労働改善を求める。

賛成**討論****反対**

予算規模は過去最大の521億1千万円となっており、多数の新規事業の実施が予定されている。これは、近年の人口増加に伴い早期に対応が求められる行政課題や、地域ごとに多様化する市民ニーズに応えようとする市の姿勢が反映されているものと思料する。

令和6年度は「第1次基本計画」の最終年度に向けた一年。教育・子育ての支援、産業振興、道路整備、農林水産業の発展、多様性を尊重した社会づくり、防災、観光・文化・スポーツの振興、脱炭素化やデジタル化等、幅広い分野で計画に基づく施策を推進すべき。

陳情

第5―10号

年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情

〈議員配付〉

第6―11号

児童が健やかに生育する権利を保障することを求める陳情書

〈議員配付〉

各常任委員会の審査

印西市議会では、すべての議案を委員会に付託し審査することを原則としています。
各委員会に付託された議案と審査内容の一部を要約して掲載します。

建設経済常任委員会

環境経済部・都市建設部・上下水道部・農業委員会を所管

水道整備、管理行政が厚労省から国交省へ

【議案第11号 印西市手数料条例の一部を改正する条例の制定】

【内容】建築基準法施行令の改正により、新たに規定された認定申請に対する審査手数料を追加するものおよび、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の名称変更に伴う所要の改正を行う。

【問】法律名が変わったという事で、どういう改正が行われたのか。

【答】目的規定に「建築物への再生可能エネルギー利用設備の設置の促進」が加えられたことにより、法律名が変わったものである。

【問】以前の建築物と法改正後とでは、どのようになら変わったのか。

【答】建築物だけではなく設備も含めて省エネルギーの推進を目的とした改正と考えている。

【議案第19号 印西市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定】

【内容】地方自治法の一部を改正する法律の公布に伴い、引用条項の整理を図る。

【問】今回の改正は、この条項番号のみでよいのか。

【答】条ずれを修正する改正のみである。

【議案第20号 印西市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定】

【内容】水道整備、管理行政の機能強化のため、厚生労働省から国土交通省に所管事務が移管されたことに

よる所要の改正を行う。

【問】水道業務の所管替えでどのような効果が見込まれるのか。

【答】生活衛生等に関する行政機能の機能強化を図られる。



平岡配水場

審査結果	番号	件名	結果
	議案第11号	印西市手数料条例の一部を改正する条例の制定	可決
	議案第19号	印西市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
	議案第20号	印西市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定	可決



市は非正規職員の手当を拡充

【議案第7号】職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定。

【内容】印西市の職員で育児休業している会計年度職員にも勤勉手当を支給するもの。

問 会計年度任用職員に対して、育児休業中も勤勉手当が支給されるということか。

答 会計年度任用職員には勤勉手当を支給できなかったが、法の改正に伴い支給できることとなった。

問 条例改正の対象になる会計年度任用職員は何か。

答 現在、対象者はいないが、令和2年度には1名いた。

【議案第1号】市長等の印西市に対する損害賠償責任の一部の免責に関する条例の制定

【内容】市長等の市に対する損害賠償責任の一部を免責することを規定。

問 この条例は退職された場合にも適用されるのか。

答 在職中の行為に基づく損害賠償責任であり、退職された後でもその行為の時点の基準給与年額が算定の根拠となるため免責の対象となる。

問 公務員が職務上重大な不注意で市に損害を与えた場合、一般職には別の制度があるが、適用制度のない首長又は特別職について新たに条例ができるということか。また、一般職は対象とならないのか。

答 住民訴訟の場合は、個人に対して故意や軽過失であっても損害賠償責任が生じる場合がある。地方自治法において善意でかつ重大な過失がないときは免責することができ旨を条例で定められる法改正が行われたため、今回条例を制定するものである。また、一般職も第2条の第4号において適用される。



総務企画常任委員会の審査の様子

審査結果	番号	件名	結果
	議案第1号	市長等の印西市に対する損害賠償責任の一部の免責に関する条例の制定	可決
	議案第5号	印西市監査委員条例の一部を改正する条例の制定	可決
	議案第6号	昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除及び職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例を廃止する条例の制定	可決
	議案第7号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
	議案第8号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
	議案第9号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
	議案第10号	印西市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
	議案第32号	印西市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
	議案第33号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決

総務企画常任委員会の
審査の様子はこちらから。



いんざい議会だより

令和6年（2024年）5月 No.208

文教福祉常任委員会

福祉部・健康子ども部・教育委員会を所管

令和6年度から8年度の

介護保険料が決定

【議案第2号】印西市地域包括支援センター運営協議会設置条例の制定

【内容】運営協議会を設置するために本条例を制定する。

問 なぜ今、条例制定するのか。

答 附属機関と指定するところが適当であり、地方自治法において法律または条例で定めると規定されているため。

【議案第14号】印西市介護保険条例の一部改正

【内容】3年間の介護保険料の基準額を従来の5万6千4百円から5万7千6百円とし、各区分の保険料率を改正する。

問 第9期介護保険事業計画で、施設、サービスは。

答 施設に関しては有料老人ホーム等の設置を見る

込み計画策定した。今回、在宅サービス充実の経費の伸びを大きく見込んでいます。

【議案第31号】事業契約変更

【内容】（仮称）千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業の契約金額の変更（現契約金額約8億7933万円に約4億5669万円を増額。物価変動による工事費の上昇に伴い建築費指数が11・72%上昇。うち市負担分を増額）

問 事業者負担が建築費指数の1・5%で残り10・22%が市の負担となる説明は。

答 通常の請負工事で使用している全体スライド条項と同じで、1・5%分は事業者負担としている。

問 物価スライド条項はインフレにもデフレにも対応するはず。物価が下がる

か。と、どのような運用になるのか。

答 物価が下がった場合も同様の運用になる。

問 工事費増額に伴う工期の遅れ、仕様書の変更は。

答 工期に変更なく、仕様書の変更もない。



建設工事中の
（仮称）千葉ニュータウン中央駅圏
複合施設

番号	件名	結果
議案第2号	印西市地域包括支援センター運営協議会設置条例の制定	可決
議案第3号	印西市福祉有償運送運営協議会設置条例の制定	可決
議案第4号	印西市健康づくり推進協議会設置条例の制定	可決
議案第12号	印西市立子ども発達センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第13号	印西市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第14号	印西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第15号	印西市指定地域密着型サービスに係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第16号	印西市指定地域密着型介護予防サービスに係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第17号	印西市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第18号	印西市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第31号	事業契約の変更（（仮称）千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業）	可決



文教福祉常任委員会の
審査の様子はこちらから。

◆ 令和6年第1回定例会 議案と審議結果一覧 ◆

全会一致議案一覧

番 号	件 名
《議 案》市長提出	
議案第1号	市長等の印西市に対する損害賠償責任の一部の免責に関する条例の制定
議案第2号	印西市地域包括支援センター運営協議会設置条例の制定
議案第3号	印西市福祉有償運送運営協議会設置条例の制定
議案第4号	印西市健康づくり推進協議会設置条例の制定
議案第5号	印西市監査委員条例の一部を改正する条例の制定
議案第6号	昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除及び職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例を廃止する条例の制定
議案第7号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定
議案第8号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定
議案第9号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定
議案第10号	印西市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定
議案第11号	印西市手数料条例の一部を改正する条例の制定
議案第12号	印西市立子ども発達センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定
議案第13号	印西市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定
議案第15号	印西市指定地域密着型サービスに係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定
議案第16号	印西市指定地域密着型介護予防サービスに係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定
議案第19号	印西市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定
議案第20号	印西市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定
議案第21号	令和5年度印西市一般会計補正予算(第8号)
議案第22号	令和5年度印西市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
議案第23号	令和5年度印西市介護保険特別会計補正予算(第3号)
議案第24号	令和5年度印西市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
議案第29号	令和6年度印西市水道事業会計予算
議案第30号	令和6年度印西市下水道事業会計予算
議案第31号	事業契約の変更((仮称)千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備事業)
同意第1号	印西市農業委員会の委員の任命につき同意を求めること(五十嵐 義弘氏)
同意第2号	印西市農業委員会の委員の任命につき同意を求めること(石井 光一氏)
同意第3号	印西市農業委員会の委員の任命につき同意を求めること(伊藤 英氏)
同意第4号	印西市農業委員会の委員の任命につき同意を求めること(岩井 猛和氏)
同意第5号	印西市農業委員会の委員の任命につき同意を求めること(大久保 優氏)
同意第6号	印西市農業委員会の委員の任命につき同意を求めること(小川 憲通氏)
同意第7号	印西市農業委員会の委員の任命につき同意を求めること(篠田 道雄氏)
同意第8号	印西市農業委員会の委員の任命につき同意を求めること(武藤 悟氏)
同意第9号	印西市農業委員会の委員の任命につき同意を求めること(森田 文雄氏)
同意第10号	印西市農業委員会の委員の任命につき同意を求めること(山崎 幸雄氏)
同意第11号	印西市農業委員会の委員の任命につき同意を求めること(米井 絹恵氏)
議案第34号	令和6年度印西市一般会計補正予算(第1号)

番号	件名	議決結果	大野忠寄	加藤亮二	鈴木博美	都築真理子	野崎崇正	林勝利	藤江研一	松本有利子	稲葉健	小川利彦	櫻井正夫	岩崎成子	近藤瑞枝	中澤俊介	増田葉子	松尾榮子	重司俊紀	金丸和史	板橋睦	山田喜代子	米井重行	海老原作一
《議 案》 市長提出																								
議案第14号	印西市介護保険条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第17号	印西市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第18号	印西市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第25号	令和6年度印西市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第26号	令和6年度印西市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第27号	令和6年度印西市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第28号	令和6年度印西市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第32号	印西市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第33号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

※○＝賛成、×＝反対、退＝退席、欠＝欠席、除＝除斥(※地方自治法の定めにより本人等が関係する議案の採決に加われません。)、―＝その他 ※議長(海老原作一)は採決に加わりません。

令和5年度 議員の出欠簿を公開します

令和5年度は、本会議は定例会が4回、臨時会が2回開催されました。
委員会については常任委員会（総務企画・文教福祉・建設経済・予算審査）、議会運営委員会、特別委員会（決算審査・印西市議会基本条例制定）が開催されましたが、各委員会ごとに開催回数が異なるため、出席必要日数も各議員によって異なります。また、議長（海老原作一）と副議長（米井重行）も各委員会等全てに出席しますが、出欠簿には記載していません。

公務

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
議員氏名		大野忠寄	加藤亮二	鈴木博美	都築真理子	野崎崇正	林勝利	藤江研一	松本有利子	稲葉健	小川利彦	櫻井正夫	岩崎成子	近藤瑞枝	中澤俊介	増田葉子	松尾榮子	軍司俊紀	金丸和史	板橋睦	山田喜代子	米井重行	海老原作一
本会議	出席必要日数	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
	欠席日数									1			1						6			1	
	遅刻・早退・外出				2								5						2			3	
常任委員会	出席必要日（視察含む）	10	10	13	11	13	11	11	13	13	13	10	13	13	11	10	13	11	13	11	14	7	7
	欠席日数																						
	遅刻・早退・外出																		1				
議会運営委員会	出席必要日数（視察含む）							18	18	18	18		18				18	18		18			
	欠席日数									1			2										
	遅刻・早退・外出																						
特別委員会	出席必要日数（視察含む）	5	5	4		4		5	4	9	4		4	4	5	5	9		9		4		
	欠席日数						1		1							1			1		2		
	遅刻・早退・外出																						
協議会	出席必要日数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	欠席日数													1	1				1			1	
	遅刻・早退・外出				1										1								



令和6年2月2日に八街市で開催された印旛管内市議会正副議長連絡協議会定例会に出席し、その後、八街未来都市を視察しました。
新しいタイプの会員制シアレジデンスであり、ゴルフ場隣接のハーヴェストレジデンス八街など、未来志向の街づくり現場を確認できました。
八街市は、都市計画法の一部改正に伴い、「都市計画の提案制度」を創設しました。この八街未来都市の推進にはこの制度が必須要件となりました。

正副議長の動向

八街市の未来都市づくり

編集後記

日本には春夏秋冬があります。

一年の初めは春、と決め言葉のようですが、今年の冬は寒暖差が大きく、記録的高温や寒の戻りもありました。暖か過ぎて冬眠する動物の生活を狂わせてもいけないと思います。春の知らせを告げる梅の開花が例年より10日も早まる一方で、桜は何十年ぶりに入学式に満開となりました。

さて、話は変わりますが、印西市の定例議会は年4回開催され、第1回定例会では当初予算の審議を行います。一年間を動かす多額な使い道を決めるため、議員と執行部とで時間をかけて深い議論を交わしました。

今年も印西市の発展に全力を尽くす所存でございますので、よろしくお願い致します。

委員長
副委員長
委員

米井重行
松本有利子
鈴木博美
都築真理子
林勝利
櫻井正夫
板橋睦

次世代に繋ぎたい
印西市の魅力

原山中学校

3年 佐々木 ななみ



近年、私たちが住んでいる印西市は国内外の企業のデータセンターが建設され、多くの企業から注目されています。また、「住みよさランキング」にもランクインし、現在も市内の人口が増加傾向にあるなど大きな発展を遂げています。発展し続けている印西市ですが、印西市の魅力は便利で住みやすい街の中にも、自然豊かな街であることだと思います。

私が保育園の頃、夏になる

と近くの公園で蛍の観賞会が開催されていました。無数の綺麗な蛍の光を見たときの感動は今でも忘れられません。しかし、この自然に生息する蛍たちも年々少なくなっているようです。開発が進み、便利になる一方で隅に追いやられてしまう生物たちがいます。また、高齢化率が中心部に比べると高くなっている地域があります。移動手段が少なく、買い物などに行くことが不便であったり、その地域の魅力が少なく、若い世代が離れて行ってしまう問題があります。未来を支える私たち一人一人が、地域に関心を持ち、どうすべきかを考えることが問題解決の糸口になるのではないのでしょうか。私たちが大人になったときに、今以上に魅力溢れる都市であるように、鎖のようにその輪を繋いでいきたいです。



第2回定例会 会期予定及び日程

令和6年第2回定例会は、5月31日(金)から6月20日(木)までの会期予定です。

最新の日程は、ホームページでご確認ください。

なお、インターネットによる本会議のライブ中継および委員会の録画中継を配信していますので、ご利用ください。

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。

【印西市議会事務局】
☎0476(33)4614



印西市マスコットキャラクター
いんざい君



日	月	火	水	木	金	土
5/19	5/20	5/21	5/22	5/23	5/24 議会運営委員会	5/25
5/26	5/27	5/28	5/29	5/30	5/31 本会議 (議案上程)	6/1
6/2	6/3 本会議 (個人質問)	6/4 本会議 (個人質問)	6/5 本会議 (個人質問)	6/6 本会議 (個人質問)	6/7 本会議 (個人質問)	6/8
6/9	6/10 予算審査 常任委員会	6/11 総務企画 常任委員会	6/12 文教福祉 常任委員会	6/13 建設経済 常任委員会	6/14	6/15
6/16	6/17	6/18	6/19 議会運営 委員会 正副委員長会議	6/20 本会議 (議案の採決)	6/21	6/22



フェンシングは、フランス発祥の剣を用いた競技です。千葉ジュニアフェンシングクラブは、2021年7月に千葉市で活動開始、翌年4月には印西市にも拠点を増設。現在は、小中学生を中心に幼児から大人まで約35名の仲間とともに活動しています。

